

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 12 月 4 日 (2014.12.4)

【公開番号】特開 2014-188837 (P2014-188837A)

【公開日】平成 26 年 10 月 6 日 (2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2014-055

【出願番号】特願 2013-66300 (P2013-66300)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 10 月 17 日 (2014.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

この搬送過程で、処理液皿 4 4 B からアニロックスローラ 4 4 C により一定量に計量された処理液が付与された塗布ローラ 4 4 A を用紙 P の表面に押圧当接させることで、用紙 P の表面に処理液が塗布される。なお、処理液を塗布する形態はローラ塗布に限定されず、インクジェット方式、ブレードによる塗布など、他の形態を適用することも可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 4】

図 5 に示す態様では、複数のインク供給路 2 1 4 及び複数の循環共通流路 2 2 8 がノズル列間に交互に配置され、かつ、インク供給本流路 2 1 4 A は Y 方向の一方の端（図 5 の下側の端）に配置され、循環本流路 2 2 8 A は Y 方向の他方の端（図 5 の上側の端）に配置される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 8】

同一のノズル部 2 8 1（図 1 0 における上側のノズル部）と連通する接続口 3 0 2 と接続口 3 0 4 との距離 D 1 は、隣接するノズル部 2 8 1（同図における下側のノズル部）と連通する接続口 3 0 6（2 つの接続口のうち接続口 3 0 2 に近い方の接続口）と接続口 3 0 2 との距離（循環共通流路 2 2 8 における流路長）D 2 未満（ $D 1 < D 2$ ）となっている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 4 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 4 4 】

同様に、循環個別流路 2 2 7 は、循環出口 2 2 7 A と接続される第 1 流路 2 2 7 B、及び接続口 3 0 4 と接続される第 2 流路 2 2 7 C を含んで構成され、第 1 流路 2 2 6 B と第 2 流路 2 2 7 C とは、直交（交差）している。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 7 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 7 7 】

図 1 4 に示す態様において、本流 6 2 6 B の流体抵抗値を R_{111} 、支流 6 2 6 C の流体抵抗値を R_{112} 、支流 6 2 6 D の流体抵抗値を R_{113} とし、本流 6 2 7 B の流体抵抗値を R_{211} 、支流 6 2 7 C の流体抵抗値を R_{212} 、支流 6 2 7 D の流体抵抗値を R_{213} とすると、 $R_{111} + (R_{112} \times R_{113}) / (R_{112} + R_{113}) = R_{211} + (R_{212} \times R_{213}) / (R_{212} + R_{213})$ の関係を満たしている。